

令和6年度 まちづくり懇談会

主要施策の取組状況

栗山町長 佐々木 学

■ 5つの基本目標

- 賑わい満ちたまち
- 優しさあふれるまち
- 夢叶えるまち
- 魅力輝くまち
- 共に創るまち

■ 6つの分野別政策

- ① 心豊かに暮らせるふるさとづくり
- ② 人々が元気に輝くふるさとづくり
- ③ 健幸で生きがいを感じるふるさとづくり
- ④ 活力と賑わいあふれるふるさとづくり
- ⑤ 安全・安心で快適なふるさとづくり
- ⑥ みんなの絆で支え合うふるさとづくり

●町民のラジオ参画に向けた取り組み

- 道内29局目のコミュニティ放送局 エフエムくりやま
- 10月に初めての番組改編
- 番組内でボランティアパーソナリティによる企画コーナー
- 地域おこし協力隊番組の放送



FM くりやま
78.8MHz

エフエムくりやま
開局
(放送の開始)

ラジオ放送を通じた
コミュニティの創生



放送ボランティア養成のため
開催した基礎講座の様子

緊急防災情報の
発信



スタッフの皆さん



ボランティアパーソナリティも放送に参加

●災害・防災等の情報発信



→ エフエムくりやまは、くらしの情報のほかに災害時などには防災情報を放送します。

一般放送内での 情報発信

あまり被害が想定されない場合や、被害が拡大しないような場合は、放送中の番組内で放送します。

※震度3までの地震や、各注意報・警報の情報を放送。

緊急割り込み放送 による情報発信

大きな被害が想定される**震度4以上※の地震**や**大雨による洪水等**、また、**弾道ミサイル（Jアラート）**などの緊急情報が流れる場合は、エフエムくりやまの電波を使用し緊急情報を放送します。

※長周期地震動の大きさ等によって震度3でもJアラートが発令される場合があります。

お電話一本、
ご自宅へお届けします。



●電波受信対策の取り組み

→ T型FMアンテナ、外部アンテナ等の増強



●人と自然が共生するまちづくりを目指して

→ 9月に、道内の市町村で初となるネイチャーポジティブを宣言。

国蝶オオムラサキをはじめ長い時間をかけて形成されてきた多様な生態系を保全する取り組みを続けていくための環境基本計画を策定します。町民・関係機関、団体・町の役割を明確化し「人と自然が共生するまち くりやま」実現のため、栗山町環境基本条例の制定を目指します。

ネイチャー
ポジティブとは
日本語訳で
『自然再興』

【基本目標1】 自然を守り、次代につなぐまちづくり

自然環境の保全・再生、河川環境の整備

【基本目標2】 ゼロカーボンの実現に向かうまちづくり

地球温暖化対策の推進、持続可能な農業生産体制の構築、
森林の保全・整備

【基本目標3】 資源を大切に作るまちづくり

ごみの減量化・資源化の推進



夕張川自然再生協議会で主催しているサケ稚魚放流事業



ハサンベツ里山での自然教育

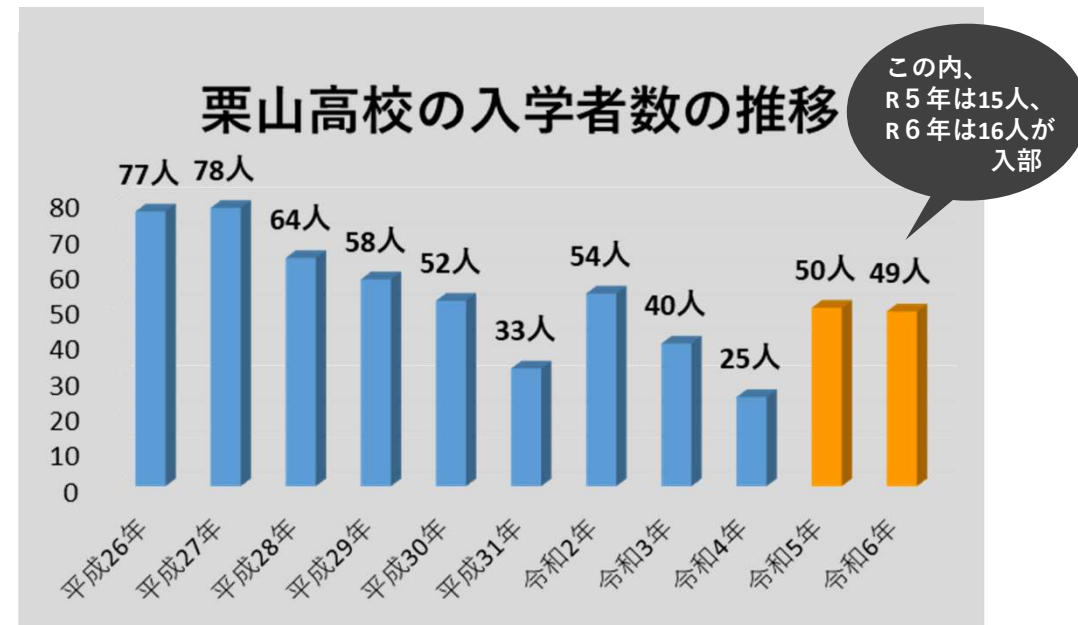


9月にネイチャーポジティブを宣言



●栗山高校女子野球部

- 少子化の影響を受け、生徒数が減少
- 栗山高校の魅力が向上し入学者数は増加
- 全国大会で勝利するまで成長



●学生寮別館の建設

- 入部者が増えたことで、学生寮の部屋が不足
- 既存の学生寮の敷地に2人部屋×8部屋（16人分）を建設
- 令和6年度に工事を行い、令和7年4月に供用開始

同一敷地内に
別館を建設、
令和7年4月供
用開始予定

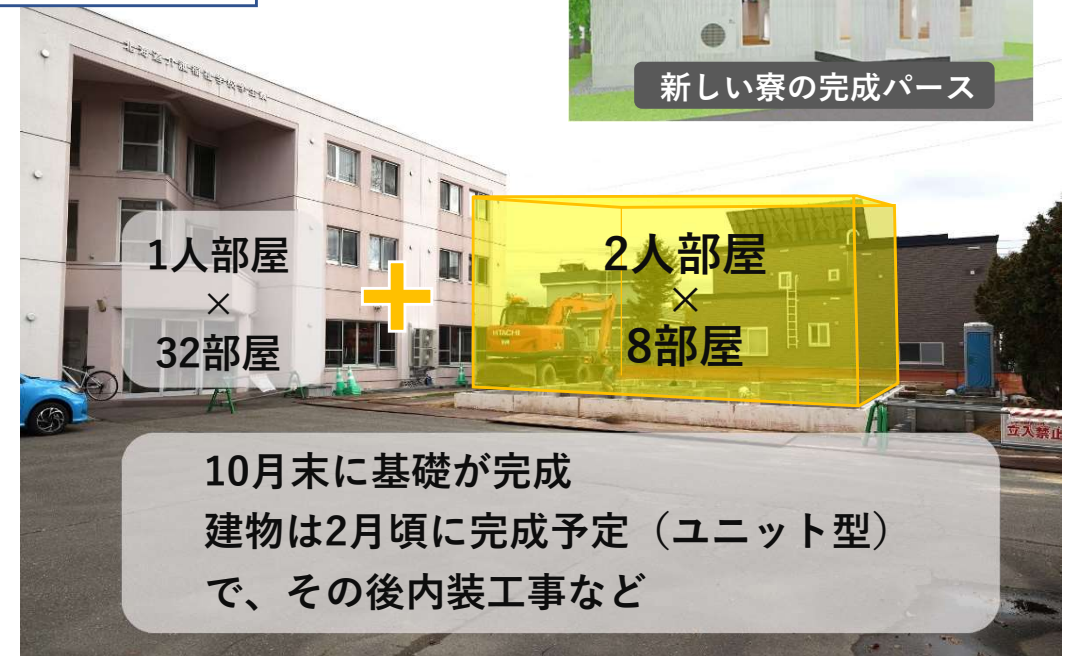
●部員数

年度	部員数
令和4年度入部	2人
令和5年度入部	15人 (内道外2人)
令和6年度入部	17人 (内道外3人)
現在の部員	32人

この内、1年生の15人が
民間の下宿を利用

■現在の入寮者数

介護福祉学校生 1年生 5人、2年生 5人
栗山高校生 2年生 14人 計 24人



● 栗山赤十字病院建て替え工事の状況について



着工前の様子

○ 整備スケジュール

	令和5年度												令和6年度											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
事業工程																								

発注期間

建設工事

	令和7年度												令和8年度											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
事業工程																								

建設工事

開院

医療機器

引越

解体工事

外構工事

グランドオープン



令和7年9月の新病院開院に向けて工事はおおむね順調に進んでいます。

令和6年2月29日撮影



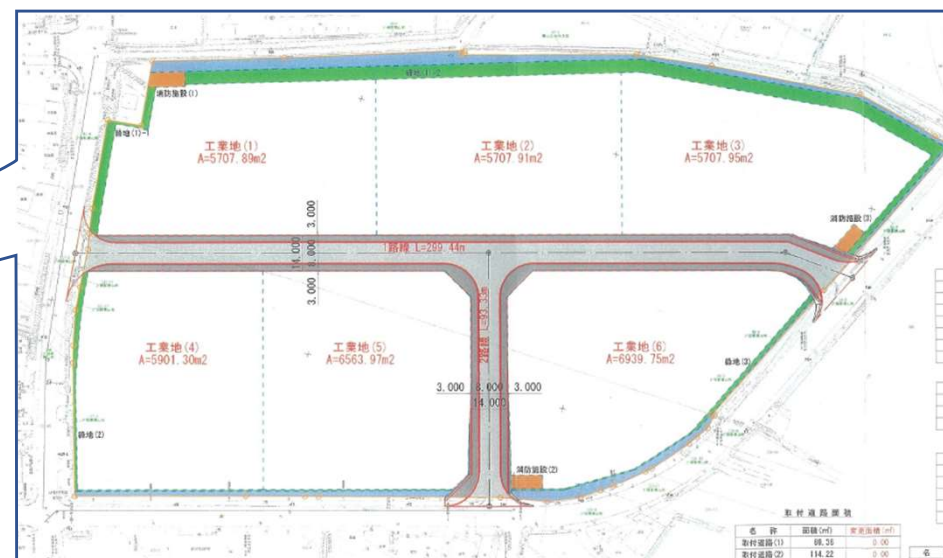
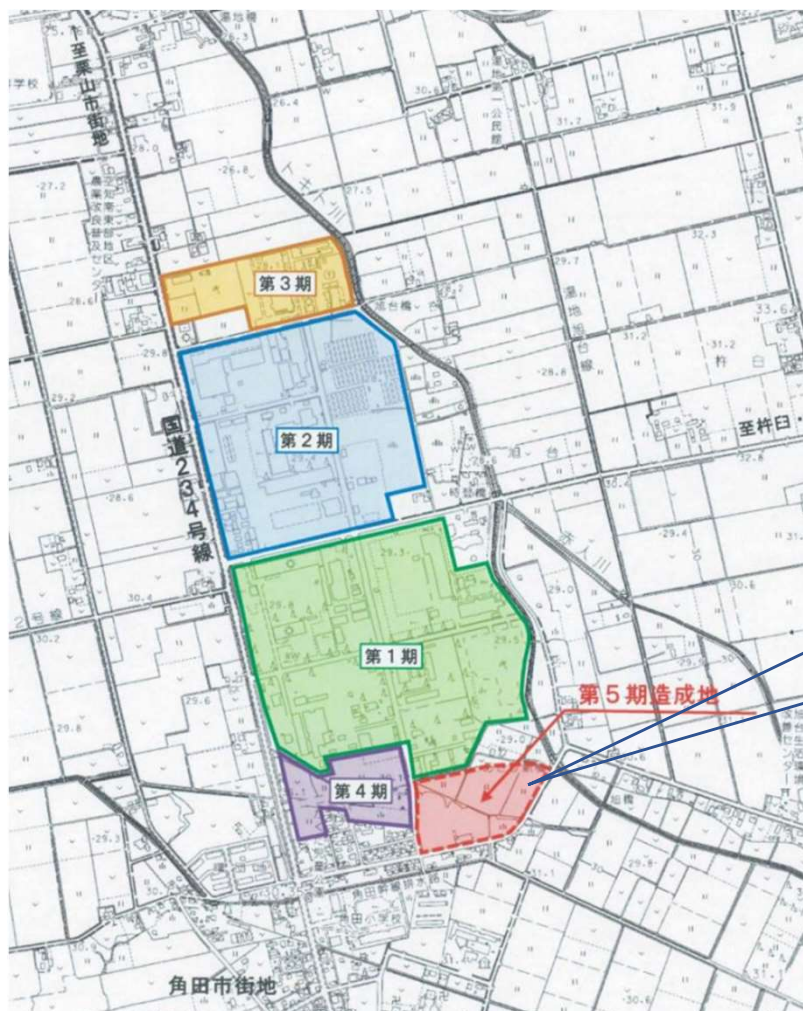
令和6年10月24日撮影



現在の建物から南側を撮影（定点カメラ）

●第5次工業団地の造成

→ 新たに工業団地 6 区画を造成



6 区画造成

●生産性の高い農業の推進・農業新技術の取組を推進

→ ほ場の大区画化と併せ、担い手に農地を集積（営農効率の向上）

→ 栗山町土地改良センターによる農地整備事業の推進

■農地整備事業の予定

①継立北部	H27～R6	総事業費	32億1,000万円
②円山	R3～R11	総事業費	17億3,100万円
③御園南部	R4～R11	総事業費	10億6,700万円
④富士	R5～R13	総事業費	52億円
⑤御園北部	R6～R14	総事業費	48億円
⑥御園中部	R7～R15	総事業費	40億円(予定)
⑦北学田中部	R9～R17	総事業費	30億円(予定)
⑧北学田南部	R10～R18	総事業費	28億円(予定)
⑨北学田北部	R11～R19	総事業費	23億円(予定)
⑩円山 2	R12～R16	総事業費	6億円(予定)
⑪畑総南部栗山	R12～R20	総事業費	25億円(予定)
⑫雨煙別	R13～R21	総事業費	33億円(予定)
⑬鳩山	R14～R22	総事業費	28億円(予定)
⑭中里	R15～R23	総事業費	36億円(予定)

計 409億800万円

令和6年度 中山間 御園南部地区 42工区



●交流人口・関係人口の創出

→ 栗山煉瓦創庫くりふと、交流の拠点としてオープンから1年半が経過



音楽ライブの様子

【全体来館者数】

区分	開館日数	施設主催イベントを含む		施設主催イベントを除く	
		来館者数	平均/日	来館者数	平均/日
2023年4月	26日間	6,033人	232.04人	1,631人	62.73人
2023年5月	26日間	2,129人	81.88人	2,129人	81.88人
2023年6月	26日間	3,862人	148.54人	1,381人	53.12人
2023年7月	26日間	4,401人	169.27人	1,765人	67.88人
2023年8月	27日間	1,871人	69.30人	1,871人	69.30人
2023年9月	26日間	3,038人	116.85人	1,255人	48.27人
2023年10月	26日間	1,973人	75.88人	1,973人	75.88人
2023年11月	26日間	1,571人	60.42人	1,571人	60.42人
2023年12月	26日間	1,226人	47.15人	1,226人	47.15人
2024年1月	22日間	1,034人	47.00人	1,034人	47.00人
2024年2月	25日間	1,722人	68.88人	1,722人	68.88人
2024年3月	27日間	1,964人	72.74人	1,964人	72.74人
合計	309日間	30,824人	99.75人	19,522人	63.18人

※プレオープン期間2023年1月～3月の実績合計

開館日数：59日間、施設主催イベントを含む来館者数：4,378人、

施設主催イベントを除く来館者数：3,674人



ファブラボの様子



キッチンを活用した事業



来館者参加型の企画展示



●地域公共交通の現状と対応

- バス事業者の経営悪化（人口減少、新型コロナの影響）
- 深刻な乗務員不足により相次ぐバス路線の廃止・減便



■令和5年9月末：夕鉄バス路線の廃止

- 栗山駅前・新さっぽろ駅前線（往路：4便・復路：4便）
- 新夕張駅前・新さっぽろ駅前線（往路：3便・復路：3便）
- りすた・新さっぽろ駅前線（往路：5便・復路：5便）

北広島駅循環線

北広島駅までのデマンドバス往路5便、復路5便の試行運行を経て令和6年10月より本格運行



■令和6年9月末：中央バス路線の廃止

- 札幌・夕張線「高速ゆうばり号」（往路3便・復路3便）
- 夕張線（往路1便・復路1便）

継立線・北広島駅循環線

- 継立線の1便を日出線とし、デマンド区域に加えて運行
- 北広島駅循環線に角田本通の停留所を追加

●令和6年度の主な公共事業

(1) 中里団地の建て替え



平屋 昭和48年～50年 14棟56戸
4階建 昭和51年～55年 5棟88戸



建て替え



建て替え後のイメージ

2階建 令和6年～12年 12棟96戸

■令和6年度事業費（予算ベース）

事業費 約3億8千万円

【財源内訳】

国交付金 約1億7千万円
起債 約2億1千万円



順調に進む工事

(2) 主な道路改良・補修事業等



中央通り舗装補修事業
(令和6年度から4カ年)

令和6年度事業費 約2千2百万円
道路補修工事 延長：216.0m



松風西通り道路改良事業
(令和6年度から2カ年)

令和6年度事業費 約3千3百万円
道路改良工事 延長：100.0m



杵臼本線道路改良事業

(平成30年度から令和6年度)

令和6年度事業費 約9千5百万円
道路改良工事 延長：243.8m



錦1号線歩道新設事業

令和6年度事業費 約1千9百万円
舗装路盤工 延長：160.0m



緑町通り道路改良事業
(令和6年度から3カ年)

令和6年度事業費 約3千5百万円
道路改良工事 延長：120.0m



松風6線側溝改修事業
(令和6年度から2カ年)

令和6年度事業費 約2千百万円
側溝改修工事 延長：105.0m



ふれあい橋補修事業

令和6年度事業費 約9百万円
上屋防水事業一式



湯地・鳩山線側溝整備事業

令和6年度事業費 約480万円
側溝整備工事 延長：125.0m



継立南学田線道路改良事業
(令和6年度から3カ年) ※R6は調査設計

令和6年度事業費 約1千3百万円
道路改良工事 延長：520.0m

●自治体DXの推進

- 令和6年8月に栗山町DX推進計画を策定
- 窓口のキャッシュレス化や書かない窓口の推進など取り組みを進める

DXとは・・・

デジタルトランスフォーメーションの略で、デジタル技術を活用して社会や生活の質を変えることを目的に提唱された概念

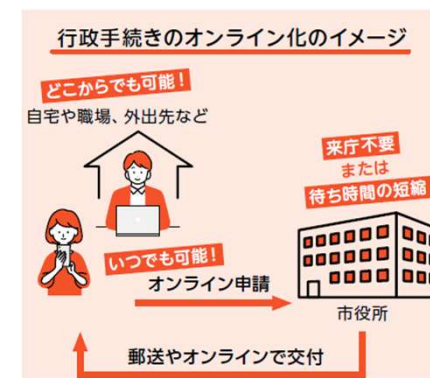


なぜDXを進める？

○労働者人口の減少が進むなか、栗山町でも多様化する住民ニーズに対応できるまちづくりをしなければなりません。そのためには、デジタル技術を活用した業務の効率化や職員の生産性を向上させる必要があります。



令和6年8月にDX推進計画を策定



「まちという名の家族」



ご清聴ありがとうございました